

2024年度入試【3年次編入学】

【西洋史】

(法文学部 社会文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は1ページである。解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

次の（１）～（６）の問題のうちから３つを選んで答えなさい。

- （１） 古代ローマ帝国の歴史における「内乱の１世紀」（前 121～前 30 年）について、共和政から元首政への政治体制の変化の観点から説明しなさい。
- （２） 中世都市の成立について、経済、政治、社会の３つの観点から説明しなさい。
- （３） ルネサンス、宗教改革、科学革命という３つの歴史的事象について、啓蒙思想との関連から説明しなさい。
- （４） 「絶対王政をささえる柱として官僚制を重視する」通説を、当時の官僚の実態をふまえて批判しなさい。
- （５） 第 1 次世界大戦の勃発と戦後体制（ヴェルサイユ体制）の成立について、大戦の経過をふまえながら説明しなさい。
- （６） EU（ヨーロッパ連合）成立の過程とその歴史的意義について説明しなさい。

*なお、解答用紙は 3 枚あります。解答は、問題ごとにそれぞれ別の解答用紙に記入し、1 枚の範囲内にまとめること。解答の最初に、選択した問題の番号を記すこと。